



竹田ゆかり市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11
(携) 090-3535-4474
(自) 0467(32)2007
E-mail:yukari.ain@jmail.com
http://yukari-0031.xsrv.jp



「更新手続きを、思い留まらせるような説明ではないか」との市民の方々からの訴えが寄せられ、市の姿勢を質すために一般質問で取り上げました。

鎌倉市は「障害のある人もない人も、誰もが一生にわたり、健やかで安心して地域の中で暮らせるまち」をめざしています。そのためにあるのが「障害者福祉サービス」です。二〇一四年四月から「障害者総合支援法」が施行され、この支援法にもとづく「障害者福祉サービス」を利用する場合、『障害支援区分』の認定を受けなければなりません。

この認定を受けると、支援区分によって、「自宅での入浴・排せつ・食事等の介護や、外出支援、ショートステイ、施設入所支援」などのサービスを受けることができます。しかし支援区分の認定には有効期限があり、引き続きサービスを受けるには、3年に一度更新手続きをする必要があります。そのため、期限が切れる前に、市から更新手続きについての案内があります。

今回、この更新手続きにあたっての窓口（認定調査員）の説明が「更新手続きを、思い留まらせるような説明ではないか」との市民の方々からの訴えが寄せられ、市の姿勢を質すために一般質問で取り上げました。

市の答弁では「3年間サービスを受けなかった方に、更新手続きの負担を考えて『更新しない』という選択肢もある」と説明したが、市民に誤解を招くことのないように今後十分注意したい」とのことでしたが、誤解どころか次のような間違った説明は看過できません。

「更新しなくとも、緊急対応でサービスが受けられます」（受けられない）●「市は、国や県の『認定者を減らす』という方針に従っています」（このような方針は国や県から通知されていない）

「過剰な職員数削減」がまねいた？

市民サービスの低下

たとえば、「障害者福祉課」の窓口対応

6月議会一般質問より

投票所別投票率から 見えてきたこと！ 本文は裏面

投票所 (%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
1 十二所公民館	45.3	32.1	38.3	43.1	48.5	58.4	62.5	40.4	48.9
2 第二小体育館	31.9	31.9	43.8	47.7	45.5	58.2	67.1	37.9	49.8
3 鶴岡幼稚園	37.0	26.8	37.4	48.2	51.2	57.2	62.9	41.8	49.0
4 生涯学習センター	44.4	30.9	39.1	46.3	60.8	60.8	71.7	42.2	51.2
5 比企谷幼稚園	51.1	22.0	36.4	45.7	48.6	56.3	60.4	33.2	46.3
6 材木座公会堂	27.5	31.3	35.7	42.6	49.6	60.5	69.7	39.9	49.3
7 いずみ幼稚園	30.8	28.6	35.2	42.7	52.1	58.0	65.9	42.0	47.3
8 市役所	36.1	28.6	37.5	40.3	49.8	61.9	63.7	55.5	49.9
9 第一小多目的	35.9	27.1	34.6	35.1	40.8	55.7	55.9	33.7	41.7
10 長谷公会堂	36.9	23.7	35.0	38.6	46.5	53.1	59.7	34.2	43.2
11 稲小体育館	35.0	27.3	29.8	38.2	45.4	54.6	64.6	41.1	44.4
12 極楽寺ポンプ	29.8	18.0	32.1	35.2	38.7	53.2	54.7	36.2	39.8
13 七里ヶ浜会館	27.4	22.6	28.3	38.5	41.9	54.8	59.9	40.7	43.1
14 七里ヶ浜浄せ	37.7	22.5	31.1	36.4	50.4	55.3	58.2	40.0	44.5
15 腰小昇降口	25.4	25.6	37.0	41.6	46.4	61.5	66.0	41.9	47.3
16 腰越行政せ	23.9	24.1	40.7	41.1	47.6	59.8	65.0	46.4	47.4
17 西鎌倉自治会	34.2	24.6	34.3	42.9	47.1	58.6	62.1	38.9	46.1
18 西鎌倉小体	38.0	24.9	31.9	39.5	48.3	54.4	57.9	41.2	45.4

投票所	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
19 鎌倉山集会所	38.9	30.1	31.1	40.2	40.8	52.0	55.4	37.7	43.7
20 手広東公会堂	39.7	23.1	33.2	38.0	44.4	56.1	64.5	46.3	44.5
21 深沢行政せ	39.4	28.5	40.6	47.4	52.8	60.6	66.5	45.5	50.1
22 ピヨピヨ保育	34.3	28.1	39.1	42.4	49.0	56.7	65.6	43.0	48.1
23 梶原山町内自	36.3	23.8	38.7	48.6	50.6	58.6	62.0	45.9	49.3
24 富士塚小体	37.1	30.7	34.7	50.1	51.6	63.6	64.3	39.6	49.3
25 レーベンスガ	40.3	24.3	39.3	46.4	47.7	58.6	63.7	45.7	47.7
26 山ノ内公会堂	25.5	29.3	37.1	46.9	49.5	60.5	60.6	38.2	48.0
27 末広町公会堂	38.2	30.0	36.6	44.6	48.7	58.3	60.3	38.6	45.7
28 大船中アカデ	39.8	27.2	41.6	46.8	52.9	57.8	62.4	38.3	46.9
29 小坂小体育館	36.4	23.2	35.5	41.0	46.0	56.0	60.0	37.6	43.8
30 今泉小昇降口	41.7	28.2	35.0	40.1	50.9	66.1	71.9	51.0	51.7
31 今泉台町内会	36.8	33.2	37.0	42.7	49.0	60.0	67.7	46.7	51.5
32 岩瀬保育園	42.2	19.9	35.8	37.7	42.7	51.2	56.1	43.1	40.6
33 イトーヨーカ堂	34.6	21.5	34.1	43.8	47.6	57.4	59.3	47.6	43.7
34 大船行政せ	43.1	17.9	36.4	43.4	50.0	62.2	61.2	46.2	43.6
35 山崎保育園	30.7	21.7	33.1	42.8	47.2	60.5	67.7	39.9	43.8
36 玉中体育館	42.7	26.5	30.3	40.3	51.0	53.1	56.9	39.5	44.1
37 ケアハート	30.4	23.0	33.7	35.4	46.6	50.7	61.4	43.6	42.6
38 玉縄行政せ	28.6	24.4	38.0	42.7	48.0	52.9	61.6	42.1	43.8
39 岡本町内会館	37.0	26.9	39.7	46.7	54.3	54.3	64.2	42.5	47.7
40 関小体育館	29.4	27.9	28.2	35.6	48.3	57.5	61.0	36.2	44.4

「移動期日前投票所」の導入で、 地域間格差解消を！ 6月一般質問

4月23日投開票された鎌倉市議会議員選挙の投票率は、4年前に比べて2ポイント上がり46.3%でした。投票率が上がった原因の一つに、「期日前投票日を一日増やしたこと。時間延長をしたこと」などが考えられると、選管は分析しています。

さて、選挙は市民が自らの自治権を行使する機会です。可能な限り、公平性が担保されなければなりません。しかし、近年高齢化が進み、山坂の多い鎌倉市においては、投票所のある場所によって、地域間格差が生じているのではないかと考え、「40 投票所別投票率」を地図に落として調べてみました。すると、ひとつの仮説ではありますが、次のようなことが見えてきました。

「投票率が他地域に比べて低い」あるいは「80 歳代以上になると、30%近く投票率が落ち込む地域」は、投票所が、投票区エリアの端にあり、なお且つ投票所まで長い坂道が続く。

投票率の高さや低さは、地形や投票所の位置だけで決まるものではありませんが、●投票率の地域別の差が、どのようなことに起因するのか、市として分析すること。●『移動期日前投票所』の導入を求めました。



教職員の多忙化解消に、 市は本気で取り組みを！

文科省が2016年に実施した「教員勤務実態調査結果」が4月に公表され、小学校教諭の約3割、中学校教諭の約6割が「過労死ラインに達している」ことが明らかになりました。

議員になってから4年間、一般質問を通して、教職員の多忙化解消の取り組みとして「給食会計事務の学校からの解放」「安全衛生委員会の設置」「学校現場への人的配置増」等々、様々な角度から方策を提案してきました。しかしながら、「予算確保が難しい、優先順位をつけて…研究・検討」という言葉を、4年間、毎年変わる教育部部長から聞いてきました。

今回の文科省調査・発表を受けて、鎌倉市教育委員会は、今後この問題をどう解決して行くのか質問しました。

〈答弁内容〉

- *安全衛生委員会の設置も含めた、教職員の業務改善にむけた「検討委員会」を教育委員会内に6月中に立ち上げる。
- *アンケートによる教職員の「勤務実態調査」を行い、年度内に結果の分析をし、具体的な取り組みの方向性を出す。(給食会計事務学校からの解放も含む)
- *来年度から、具体的な取り組みに入る。
- *中学校部活動による「長時間労働の問題解決」に向けた、議場の設置を検討する。

〈6月議会で採択・可決した主な内容〉

可決した主な議案…()は竹田ゆかりの賛否

- ・鎌倉市障害児活動支援センター条例の廃止(×)
(「障害児活動支援センター」はこれまで指定管理により市が運営していたが、民間事業者による事業実施に変更する。)市が運営すべき。
- ・鎌倉市印鑑条例の一部を改正する条例(×)
(マイナンバーカードを使用して、コンビニ等で印鑑登録証明書を交付することができるようにするもの)個人情報漏えいの危険性あり。

公的不動産利活用の取り組み



以前、「鎌倉市所有の不動産は有効活用されているか」という視点で考えを述べました。(竹田ゆかり市政通信第6号)

この間、行政財産の管理・運営は各部に任されているため、全庁的な視点で有効活用するための議論がなされてきませんでした。そのため、旧鎌倉図書館は、文化財的な価値についての議論もないまま解体することになった経緯があります。(市民の多くの声に押されて保存されることになりました。)

今回、市が立ち上げた「公的不動産利活用推進委員会」は、外部委員8人で構成され、目的を「全市的な視点を持った公的不動産の利活用により、持続可能な都市運営につながる魅力ある都市創造」としています。

そして、今年度の目標は、「市民ニーズをふまえ、今後の公的不動産の利活用の筋道をつける。本庁舎移転先を今年度中に決定、現在地の活用方向も示す」としています。

「公共施設再編計画と今ある公的不動産を一体的に考えていく」その大枠を示すための委員会というわけですが、6回の委員会、実質審議するのは4回。しかも、この審議会は今年度で終わるといいます。なお、今回委員会で方向性を示すのは、市役所・野村総合研究所跡地・深沢地域整備事業用地・扇湖山荘・資生堂工場跡地の5か所についてです。

短期間でどこまで、慎重かつ幅広い検討がなされるのか。

10月市民対話。1月パブリックコメント。市民の財産の使われ方について、ぜひ多くのご意見をお寄せ下さい。

鎌倉市の子ども達にふさわしい 教科書の採択を!!

来年度から小学校に導入される特別の教科「道徳」の教科書採択が、7月19日教育委員会定例会で行われます。それに先立って、設置された「教科書採択検討委員会」(以後、採択検討委員会)では、学校現場の意見、市民の意見、調査員の意見を参考にして、教育委員会での採択の参考となる資料を作成します。

鎌倉市の場合、この採択検討委員会が非公開です。その理由を、「外部からの圧力を排し、静ひつな場所で検討する」としています。しかし、教育委員会(公開の場)で確認されたことが、非公開の場で変更されるようなことがあってはなりません。そのようなことがないよう、確認の質問をしました。

〈おもな質疑・答弁〉

- *2018年度使用教科用図書「採択方針」・「手続き」に変わらないか。答…変わらない。
- *検討委員会で作成する「報告書」の様式は前回と同様か。
答…採択検討委員会の事務が終了するまで非公開のため、内容については答弁を控える。
- *内容は何であれ、公開の場で下された判断を変更する場合は、公開の場で行われるべきと考えるがどうか。答…採択方針に変わりはない…的確な答弁なし。



- ・鎌倉市廃棄物減量化、資源化及び処理に関する条例一部改正(○) (事業者が出したごみ処理手数料を近隣市に合わせて10kg250円に。植木剪定材は除く)
- ・松尾市長に猛省を求める決議(○)市民の信頼を再度失墜させたため。・由比ヶ浜海水浴場における海の家の健全な営業を求める決議(○)
由比ヶ浜海水浴場海の家で「相部屋」を営業することは、その営業内容がファミリービーチをめざす鎌倉市の海にふさわしくないとと思われるため。

